

事業計画名【平成24年度】

生産計画、提案受注出荷業務の短納期化を目的とした在庫管理システムの開発

Overview ～事業概要～

- バーコード在庫管理システムを開発し、調達から製造までの原料管理をシステム化
- 調達、管理、製造の各部署との情報連携と履歴管理が可能となった

Products

～取扱商品～

生姜のチカラでみんなを幸せに 株式会社みやまえ

わたしたちは、しょうが漬けをはじめとする生姜加工食品の製造・販売を行っております。

【ミニパック生姜】



【紅生姜】



【甘酢生姜】



【針生姜】



【おろし生姜】



BackGround

～事業化にいたる経緯・背景～

【成熟期を迎えている生姜漬物業務用国内市場】

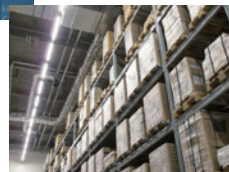
当社のメインマーケットである生姜漬物業務用国内市場は年間220億円といわれているがその成長性は低く、成熟期を迎えているといわざるを得ない。

【海外完成品の躍進】

成熟期である国内市場において海外完成品のマーケットシェアは年々拡大している。なかでも、中国完成品は人件費の差から導かれる価格差と近年の衛生管理基準に基づいた最新の工場施設を強みに大きく躍進しており、当社の今後の成長のためには中国完成品との競争は避けることができなくなっている。

【顧客が求めるサービスレベルの向上が今後の課題】

中国完成品に競争可能なのは顧客の要求に対するサービスレベルの向上である。そのため、当社においては、システムの刷新による、収益性の向上と機能性の向上により、国内の顧客が求めるサービスへの迅速な対応力を構築するべく、在庫管理システムの開発へと至った。



■代表者 代表取締役 宮前 有一郎

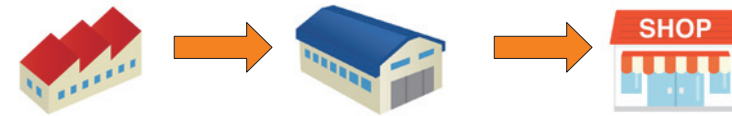
日本の伝統的な食材である生姜は、名脇役として日本の食文化を支えてきました。近年、健康志向の高まりとともに健康食品としても注目されており、いまや“生姜の力”は世界中に認められ、各国の料理の中でその役目を果たしています。当社は、日本古来の食材である生姜の伝統的な味を守りながらも、新しい発想による商品開発を通じて、新時代の食文化の創造に取り組んでいきます。

Contents

～事業の詳細・成果～

～バーコード在庫管理システム＋原料管理システムの開発～

①工場・倉庫・顧客の3つのポイントでの製品の移動・賞味期限情報に対するデータ管理

工場出荷時：製品
バーコード（賞味
期限付き）を付与倉庫入庫時：バーコード
を読み取り、入庫情報が
システムに入力されるバーコードで管理
された商品が納品
される

結果

- ・正確な在庫数量の作成が可能になった
- ・製品別賞味期限別在庫数量をデータとして正確に把握することが可能になった
- ・製品のトレーサビリティを確保することが可能になった

トレーサビリティ（追跡可能性）：「その製品がいつ、どこで、だれによって作られたのか」を明らかにすべく、原材料の調達から生産、消費まで追跡可能な状態にすること

②バーコードによるデータ管理システムを活用した棚卸管理

バーコードリーダー（バーコード読み取り機）
に棚卸業務の入力、参照、訂正画面を構築し、
棚卸端末として使用

結果

- ・データ計上された在庫数と棚卸作業による在庫数との整合性の確認により精度の高い棚卸作業が可能になった
- ・棚卸作業にかかる人員・時間を圧縮することにより、収益改善が図られるようになった

③バーコード管理パッケージシステム

バーコード管理システムからの情報
を、基幹システムでも取り扱えるよ
うにデータを取り込めるようにした

結果

- ・リアルタイムの在庫情報により、精度の高い生産計画、需要予測等の立案が可能になった

④原料在庫管理システム

原材料にもバーコードを付与すること
で、在庫情報（場所、年度、メーカー、
規格等）のデータ管理も可能になった

結果

- ・原材料の発注等において、無理・無駄のない運用ができるようになった

成果・顧客に対して、より精度の高い納期回答、需要提案が可能となり、サービスレベルが向上した
・需要予測、生産計画の精度が向上し、製品販売における機会損失はなくなり収益改善が図られるようになった

Task

～事業化における課題～

課題① 限りあるバーコードの情報量

在庫管理にバーコードを活用するにあたり、様々な情報を付与したかったが、一般的なバーコードでは情報量に限りがあり、付与したい情報が制限されるおそれがあった。

課題② 基幹システムとの連携

業務の効率化には当該事業のバーコード在庫システムと当社の基幹システムとの連携は必須であり、基幹システムにいかにより新しい情報を取り込んでいくのかが課題となっていた。

Solution

～解決への道筋～

施策① 2次元バーコードの採用

一般的なバーコードに比べて多くの情報量を持つことができる2次元バーコードを採用。そうすることで、商品名等の基本情報に加え、賞味期限情報等多くの情報をバーコードに付与することができるようになった。

施策② 情報の精査が必須

基幹システムにどのような情報を出すのがいいのか。情報が多すぎると確認に時間がかかるため、最終的には使う人の立場に立ち「今の業務がはかどるためにはどうしたらいいのか」を考え、意味のある情報の見せ方に注力した。

Future

～今後の事業スケジュール～

- 入出荷管理のデータ化による短納期化で、顧客満足度を充足し売上向上を目指すとともに、保管料の削減を行いさらなる収益性を確保する。
- 上記成果を得るために当該在庫管理システムにさらなる拡張投資を実施して機能を高めることも視野に入れている。
- 販売数量 5年目：初年度実績の3%増を目指している。

株式会社 みやまえ

■設立 昭和52年11月 ■所属組合 奈良県漬物協同組合

■事業内容 生姜製品製造販売

■本社所在地 奈良県生駒郡平群町西宮2丁目12番36号

■URL <http://www.miyamae-ginger.jp/>

■資本金 2,000万円

■従業員数 131名

■TEL 0745-45-0122